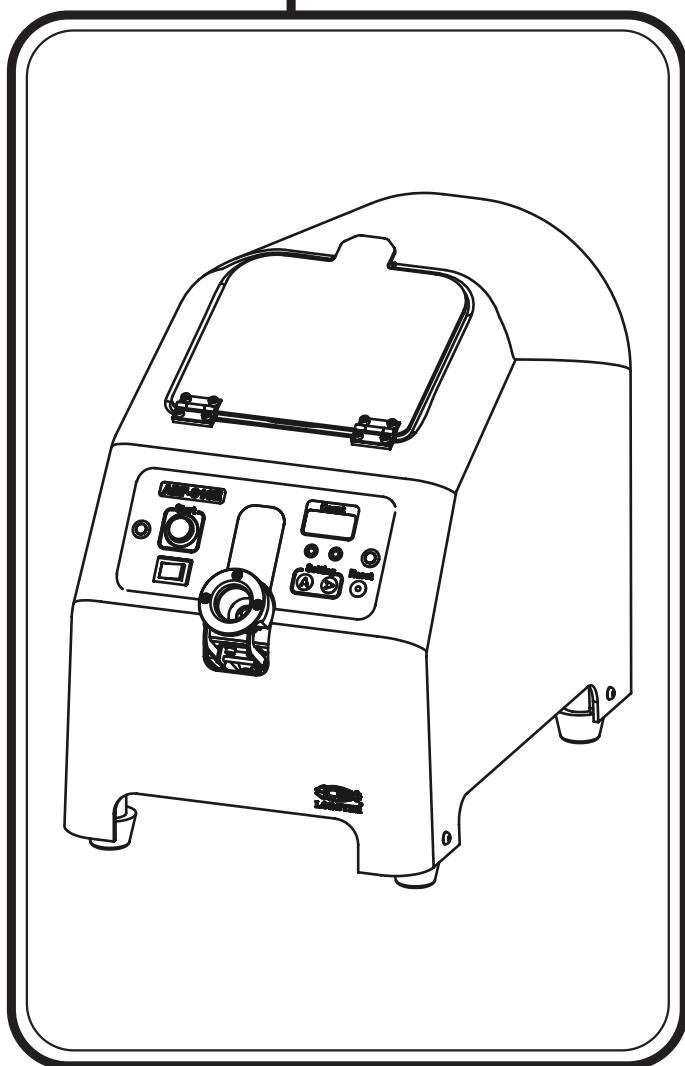


# オートリベットフィーダー

## 取扱説明書

### ARF-810E



#### 目次

はじめに	1
安全上のご注意	2
各部の名称	6
仕様	7
作業手順	10
操作方法	11
ご使用リベットの變更	13
ご使用リベッターの變更	15
保守点検	16
部品の注文方法	16
故障かな?と思ったら	17
部品表	18
型式變更と部品一覧	22

本機はプロ用ブラインドリベットフィーダーです。

- ・このたびは、エビ印オートリベットフィーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用に際し本説明書を必ずよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 ロブテックス

コールセンター TEL (072) 980-1111 FAX (072) 980-1166

〒579-8053 大阪府東大阪市四条町 12-8

ホームページ <https://www.lobtex.co.jp/>

No.AF810ES10000

# ●はじめに

このたびは、エビ印オートリベットフィーダー（以降、本機と省略します）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・本機はエビ印ブラインドリベットをリベッターに供給するための供給機です。他の用途を意図した設計・製造・販売はいたしておりません。
- ・この取扱説明書（以降、本書と省略します）には本機を安全にしかも効率よくお使いいただくための正しい操作方法や保守点検の方法、及び製品情報を記載しています。
- ・使用するリベットの仕様や強度は、お客様において十分検討されたリベットをご使用ください。

## 1 重要なお知らせ

- ・本機を取り扱う前に、必ず本書をよくお読みください。また、本機の取り扱いや付属品の交換、及び部品交換は本書の記載内容に従ってください。
- ・本書の内容につきまして、ご不明な点やご質問がありましたら、機種（型式）をお調べのうえ、お買い求めの販売店、又は当社コールセンターにお問い合わせください。
- ・本機に存在するかもしれない危険のすべてを予測し、本書に記載することはできません。本機を取り扱うときは本書に記載されていることだけでなく、安全対策に関して十分配慮してください。
- ・本書の著作権は「株式会社 ロボテックス」が所有します。本書の内容を無断で公開・複写・複製、又は別の言語に翻訳することは禁じられています。

## 2 免責について

- ・本機の誤用・乱用・無断改造等が原因で発生した直接、又は間接の損害や損失利益の補償、及びリベットの強度等リベット自身に関する保証はいたしません。
- ・当社には、当社の文書による承認のない改造により発生した一切の損害、又は障害に対して何らの責任はないものとします。
- ・当社には、推奨部品以外の部品の使用により発生した一切の損害、又は障害に対して何らの責任はないものとします。

# ●安全上のご注意



◆ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく安全に使用してください。



◆本機をご使用中は、必ず保護めがねを着用してください。リベットが飛び出し傷害を及ぼすおそれがあります。



◆本機をご使用中は機械内部、及び可動部に手を入れないでください。手をはさまれ傷害を及ぼすおそれがあります。

◆ここに示した注意事項は **警告** と **注意** に分けしていますが、それぞれの意味は下記のとおりです。

**警告** : 誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定される内容のご注意

**注意** : 誤った取り扱いをした場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意

なお、**注意** に記載した事項でも重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれる所に必ず保管してください。

## 警告

1. 使用中は保護めがね・保護具を着用してください。
  - ・リベットが飛び出し、事故や傷害（失明など）を負うおそれがあります。
  - ・防塵マスク・安全靴・ヘルメット・聴覚保護具などを適切に利用し、事故やけがを事前に防止してください。
2. 電源ケーブルの接続は確実に行ってください。
  - ・異常動作して、けがをするおそれがあります。
3. ご使用前に各部の損傷がないか確認し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するかの確認をしてください。正常に作動しない、所定機能を発揮しない場合は使用せずに修理に出してください。
  - ・損傷したまま使用しますと傷害を及ぼすおそれがあります。
  - ・物を落とすなどして本体に傷等が発生すると、その部分が破損して事故や傷害を及ぼすおそれがあります。
  - ・部品交換や清掃は取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合はお買い求めの販売店、又は当社に修理を依頼してください。
  - ・電源スイッチを入れても電源が入らない、又はスタートボタンを押しても起動しない場合は使用しないでください。異常動作して、けがをするおそれがあります。
4. 水平で振動がない安定した作業台の上に設置し使用してください。
  - ・性能を十分に発揮しないばかりか、転倒して破損、傷害や損傷を及ぼすおそれがあります。
  - ・床上に設置すると、人が本装置を踏みつける危険が考えられます。
5. 子供の手の届くところに置かないでください。
  - ・事故やけがのおそれがあります。
6. 雨中や湿った、又は濡れた場所で使用しないでください。
  - ・事故やけがのおそれがあります。

## 警告

7. 不意な始動は避けてください。電源につながるときはスイッチが入っていないことを確認してください。
8. 部品や付属部品の取り替えは指定の手順に従って行なってください。
9. 電源供給は必ず付属のACアダプターを使用してください。
10. 適切な服装で作業を行なってください。長い髪は帽子やヘアカバーで覆うなどし、だぶついた衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
  - ・ 髪・衣服・アクセサリなどが巻き込まれる可能性があります。
11. スwitchで始動、及び停止操作のできない場合は使用しないでください。
  - ・ 異常動作して、けがをすることがあります。修理を依頼してください。
12. 子供を近づけないでください。作業員以外、本機また電源ケーブルに触れさせないでください。
  - ・ けがをすることがあります。
13. 本機に損傷がないか十分に点検してください。
  - ・ 各部品に緩みや損傷があった場合は使用せず修理を依頼してください。
  - ・ 故障による事故やけがのおそれがあります。
14. 指定の付属品や交換部品を使用してください。
  - ・ 予期せぬ動きにより事故やけがのおそれがあります。
15. ご使用のリベットサイズを変更するなど、作業をする際は必ず電源を切って行なってください。
16. リベットが投入されるドラム内部には絶対に手を入れないでください。
  - ・ 予期せぬ動きにより事故やけがのおそれがあります。
  - ・ 残留したリベットは必ずリベッター供給により取出してください。
17. フタ（リベット投入口）の開閉で押されるスイッチを故意に押さないでください。
18. 指定の純正部品のみを使用し、十分な修理知識や技能を持った方が修理を行なってください。
  - ・ 十分な修理の知識・技術がないときは、修理は必ずお買い求めの販売店、又は当社にお出してください。
19. 使用中に本機の調子が悪くなったり異常音が出たときは、ただちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、又は当社に点検・修理を依頼してください。
  - ・ そのまま使用し続けると、けがの原因になります。

## 注意

1. 本機のお手入れ、部品交換等の分解時には必ず電源ケーブルを外してください。
  - ・ 部品の飛び出しといった、予期せぬ動きなどにより、事故や傷害を負うおそれがあります。
2. グリス等を使用するときは、使用するグリスの安全データシート（SDS）を供給者から入手し記載内容に従ってください。
3. 当社より供給された部品、又は推奨された部品のみをご使用ください。また、お使いになるリベットに適合した部品を取り付けてご使用ください。
  - ・ 十分な性能が発揮できないだけでなく、異常動作などにより事故や傷害を負うおそれがあります。
4. 整理・整頓・清掃された場所でお使いください。
  - ・ 散らかった場所での作業は事故や傷害を負うおそれがあります。
5. 足元の安全を確保し、無理な姿勢で作業しないでください。
  - ・ 転倒等、傷害を負うおそれがあります。
6. 作業員以外、作業場に近づけないでください。
  - ・ 事故や傷害を負うおそれがあります。
7. 本機の手入れは注意深く行なってください。
  - ・ 付属品の交換や部品交換は取扱説明書に従ってください。傷害を負うおそれがあります。

## 注意

### 8. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・本機を使用する場合は、取扱方法・作業方法・周囲の状況等に十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をとると、事故や傷害を負うおそれがあります。
- ・常識的感覚を想起してください。常識を外れた行動をとると事故や傷害を負うおそれがあります。
- ・疲れている場合は使用しないでください。事故や傷害を負うおそれがあります。

### 9. 本機の修理は当社にお申し付けください。

- ・異常に気付いたりしたときは点検修理に出してください。
- ・修理はお買い求めの販売店、又は当社に必ずお出してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

### 10. 本製品を改造しないでください。改造をすると安全装置の有効性が損なわれ操作者に対するリスクが高まります。

- ・本機は該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。異常動作等、事故や傷害を負うおそれがあります。

### 11. 本機・包装材等を廃棄する際は、国・各自治体の条例等、廃棄物に関する法令・規則に従ってください。

### 12. 本機の製造年月は、本体裏面の警告シール内に記載されています。（各部の名称参照）

### 13. 警告シールには、使用に関しての重要な情報が記載されています。シールの汚れや破損により内容が読み取れない場合は、新しいシールを取り寄せて貼り替えてください。新しいシールは、販売店を通じて当社より取り寄せることができます。

### 14. 本製品はプロ専用供給機です。はじめて使用される方は、取扱説明書の内容を十分に理解したうえでご使用ください。

- ・本製品が破損している場合は、本機を操作しないでください。

### 15. 足を滑らせるなど、転倒・落下は作業場でのけがの主な原因です。電源ケーブルにつまずいて転倒したりする危険がありますので、ご注意ください。

### 16. 本製品は、爆発の可能性がある状況下での使用を想定したものではありません。また、本製品は絶縁されておりません。

### 17. 日常的な保守点検については、適切な周期、又は操作回数によって実施してください。

### 18. 使用しない場合は、適切に保管してください。

- ・腐食等の発生を防止するため、乾燥した場所に保管してください。
- ・子供の手の届かない高い所、又は鍵のかかる場所に保管してください。けがのおそれがあります。

### 19. 能力以上の使用をしないでください。

- ・安全に効率よく作業するために、本機的能力にあった作業をしてください。本機的能力以上でのご使用は事故のおそれがあります。

### 20. 電源ケーブルを乱暴に扱わないでください。

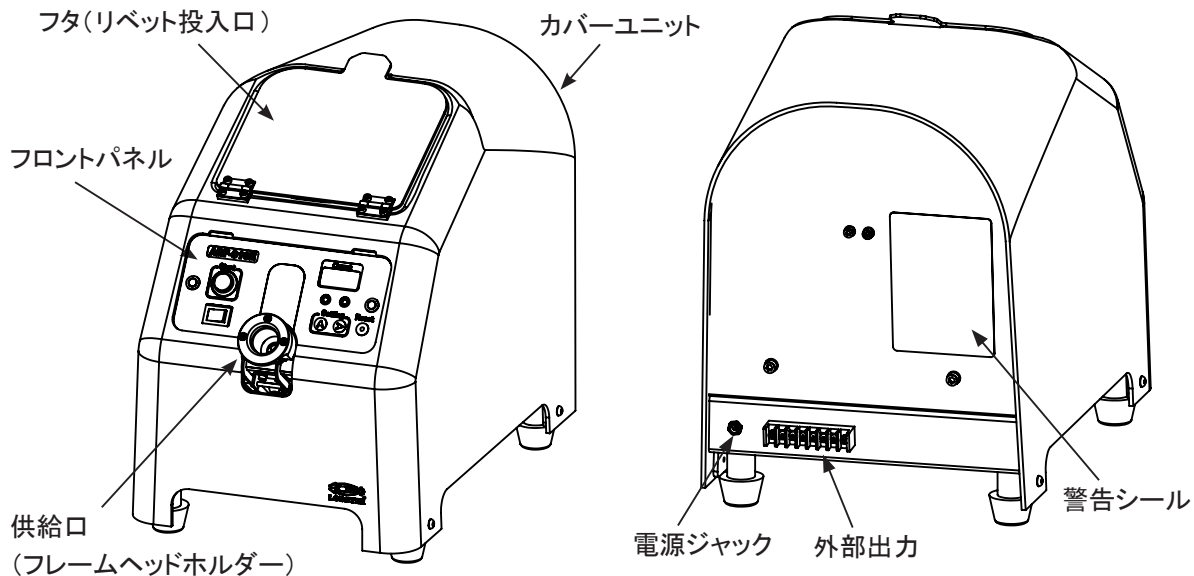
- ・電源ケーブルを引張ってコンセントから抜いたりしないでください。感電やショートなどにより、発火するおそれがあります。
- ・電源ケーブルを熱・油・角のつがった所に近づけないでください。感電やショートなどにより、発火するおそれがあります。
- ・電源ケーブルが踏まれたり、引掛けられたり、過度な力を受けて損傷することがないように注意してください。感電やショートなどにより、発火するおそれがあります。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートなどにより、発火するおそれがあります。

## 注意

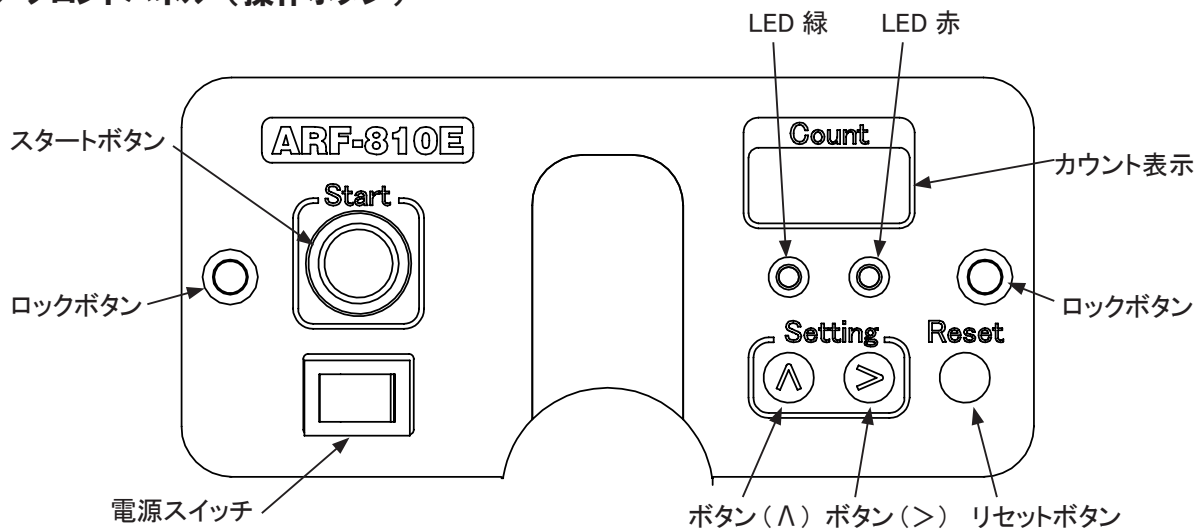
21. ご使用前に各部の損傷がないかを確認し、損傷がある場合は修理に出してください。
  - ・ご使用前に、各部に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するかの確認をしてください。
  - ・部品交換や清掃は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合はお買い求めの販売店、又は当社に修理を依頼してください。
  - ・電源スイッチを入れても、電源が入らない。又はスタートボタンを押しても起動しない場合は、使用しないでください。異常動作してけがをするおそれがあります。
22. お買い上げ後、はじめてご使用の場合に腐食・異臭・発熱・その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店、又は当社コールセンターにご連絡ください。
23. 回転軸の周り、及び機械内部に指を入れないでください。
  - ・指がはさまれ、傷害を負うおそれがあります。
24. 長時間使用した場合には、手・肩・首、及びその他の部位に疲労をもたらすことがあります。
  - ・疲労や苦痛を避けるため、適切で楽な姿勢をとり、また必要に応じて姿勢を変えてください。
  - ・継続的な不快感・痛み・しびれ・動悸・凝り・灼熱感等を感じる場合には、放置せずに雇用責任者及び健康管理者に相談してください。

# ●各部の名称

## ◇ 本体



## ◇ フロントパネル (操作ボタン)



### ■ 付属部品 ■ ご購入時にご確認ください。

- ・ ACアダプター アイコー電子(株)製 AKA-12030 (入力 : AC100-240V 出力 : 12V 3A)
- ・ 電源ケーブル
- ・ 簡単ガイド
- ・ ピンセット

# ●仕様

## ◇ 型式名



## ◇ 商品仕様

動作電圧	DC 12V	
消費電流	1.5A 以下	
大きさ 長さ×高さ×幅	420mm × 350mm × 240mm	
本体重量	10.5kg	
動作保証環境	周囲温度	5~40℃
	湿度	80% RHmax (結露なきこと) 以下
保存温度範囲	-5~55℃	
騒音 dB以下	75dB	
サイクルタイム	3秒/本	
バスケット容量	1000本 (φ2.4・φ3.2)・500本 (φ4.0)	
フレームヘッドホルダーの径	21mm・23mm	

※製品の仕様・デザインは予告なく変更することがあります。

※大きさ・重量等は標準値ですので多少の数値の上下があります。

※定格値の表示は、本体背面の警告シールにあります。

※装置製造年月は本体背面に略号と4ケタの数字で表示されています。

※騒音は等価騒音測定レベルでの測定です。

※バスケット容量を超えないよう注意してください。超えると故障の原因となるおそれがあります。

※保持ノーズピース使用の際、リベッティング後に切断されたマンドレルが保持ノーズピースより飛び出す場合は、リベット供給できません。ノーズピース内に押し込んだのちにリベットを供給してください。

## ◇ 動作モード

カウント表示	動作モード	内容
「Cn」	トータルカウントモード (TCNT)	カウント表示「0000」からリベット供給ごとにカウントアップ。「9999」が最大値
「PnE」	プリセットカウントモード (PSET)	プリセットカウント数を設定し、リベット供給ごとにカウントダウン。カウント数「0000」まで供給すると、次の供給で設定数に戻る。
「n」	ノーカウントモード (NCNT)	カウントしない。カウント表示は常時「_ _ _ _」



### ◇ 使用リベッター

R2B1・R2A1・R1A1・AR2000MV・ARV011M・ARV015MX・ARV022M  
ARV025Mをご使用ください。(保持ノーズピースをご使用の場合はバキューム不使用でも使用できます。)

※フレームヘッドホルダーの径に適応したリベッターをご使用ください。径が異なると供給できません。

フレームヘッドホルダー表記 (径)	適応リベッター
21	R2B1・R2A1・R1A1・AR2000MV
23	ARV011M・ARV015MX・ARV022M・ARV025M

### ◇ 使用リベットサイズ

当社NSA・NTA・NA・NST・NSS・NS・AP・LST・LSSをご使用ください。  
リベットサイズは下表を参照してください。

リベット径	リベットサイズ	丸頭リベット	皿頭リベット	APリベット
φ2.4	3-2	○	○	—
	3-3	○	○	—
	3-4	○	○	—
φ3.2	4-1	○	—	—
	4-2	○	○	—
	4-3	○	○	○
	4-4	○	○	—
	4-5	○	○	○
	4-6	○	○	—
φ4.0	5-2	○	○	—
	5-3	○	○	—
	5-4	○	○	○
	5-5	○	○	—
	5-6	○	○	—

※リベット投入口(P6参照)には、ご使用になるブラインドリベット以外のものは入れないでください。

### ◇ 製造年月の見方

製造年月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
略号	A	B	M	N	K	W	T	Y	U	O	L	Z

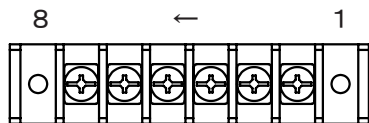
例) 2023年 4月 → BBKOOOO

↓ ↓      ↓                      ↓  
 B M    N                      (シリアルNo.)

取扱説明書改訂履歴
品名 : オートリベットフィーダー 型式 : ARF-810E 初版発行年月 2023年 3月

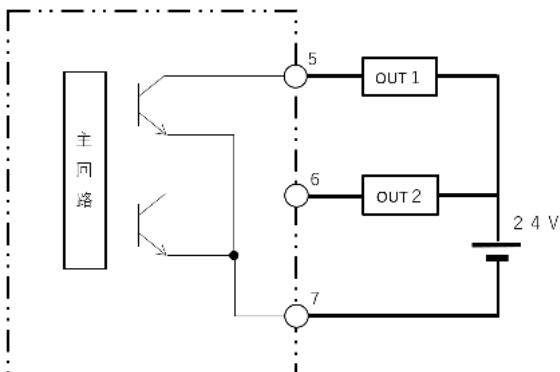
## ◇ 外部出力

カウントアップ（ダウン）、プリセット完了の信号を PLC などの外部機器へ出力できます。ご使用の場合は以下のように接続してください。



- ※引き込み最大電流は7mA です。
- ※空きの端子には接続しないでください。
- ※間違って接続した場合、故障するおそれがあります。

端子番号	内容
1	ねじ固定用
2	空き
3	空き
4	空き
5	OUT 1 (カウントアップ)
6	OUT 2 (プリセット完了)
7	グラウンド
8	ねじ固定用



## ◇ 異常表示

異常が発生した場合の表示と処理内容は以下の表のようになります。症状が改善しない場合は使用をやめ、お買い上げの販売店又は当社コールセンターまでご連絡ください。

表示	内容	原因	動作	復帰条件
<b>Er01</b>	モーターロック	リベット詰まり等でモーターが停止	エラー動作1	異常を取り除きスタートボタン押下
<b>Er02</b>	モーター過負荷	過電流、過熱等による過負荷	エラー動作1	異常を取り除きスタートボタン押下
<b>Er03</b>	制御基板異常	基板が原因の異常	エラー動作1	異常を取り除きスタートボタン押下
<b>Er04</b>	電圧異常	電源電圧12V ±10%の範囲を超過	エラー動作1	異常を取り除きスタートボタン押下
<b>Er05</b>	リベット供給異常	リベッター差し込み不足、供給口付近でのリベット詰まり等	エラー動作1	下図矢印部にリベットがある状態でスタートボタン押下
<b>Lo-r</b>	リベット切れ (LO-R)	レールにリベットが整列していない	エラー動作2	リベットを補給しスタートボタン押下

※リベットの詰まりがある場合はフロントパネルを開け、リベットを取り除いてください。(P 6、13参照)

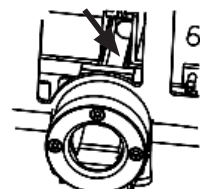
※「Er05」が出た場合、リベットがない状態で復帰するとカウント数に誤差が生じます。

### 【エラー動作1】

- ・モーター停止
- ・ブザーを5秒間鳴動
- ・LED 赤点灯、LED 緑消灯
- ・カウントアップ（ダウン）しない

### 【エラー動作2】

- ・モーター停止
- ・ブザーを3秒間鳴動
- ・カウントアップ（ダウン）実行



# ●作業手順

- 1** フタを開けてレールスペーサ（輸送用）を取り外してください。

※取り付けのまま動作させるとリベットが供給できません。  
また、部品破損のおそれがあります。

レールスペーサ



- 2** 付属の AC アダプターと電源ケーブルを接続し電源ケーブルをコンセントに、AC アダプターを電源ジャックに差し込んでください。（電源ジャックは P 6 参照）

- 3** リベットを投入してください。

※投入本数の上限は3系統（φ2.4）、4系統（φ3.2）で1000本、5系統（φ4.0）で500本です。  
※リベット投入後、レール上にリベットが滞留する場合があります。その際は取り除いて下さい。  
※動作中にフタを開けると動作が停止します。



リベット投入



- 4** 電源を投入してください。「0」→「1」

※現在の動作モードが3秒間表示されます。初期値はトータルカウントモードです。  
※動作モード表示の後、前回電源を切った時のカウント数が点滅表示されます。初期値は「0000」です。

- 5** スタートボタンを押してください。

※動作が始まります。一定量のリベットがレールに整列すると動作が停止します。

- 6** リベッターを供給口に差し込んで下さい。

※初回はリベットが供給されません。リベッターを供給口に差し込んで抜くとリベットが供給できる状態にセットされ、LED 緑が点灯します。

※2回目以降はリベッターを供給口に差し込んで、ブザーが鳴り LED 緑が点滅したら抜いてください。  
リベットが供給されカウント数が変わります。

※リベッターは必ずブザーが鳴り LED 緑が点滅するまで差し込んで下さい。

※保持ノズピースを使用しない場合は、必ずリベッターのバキュームを作動させてください。

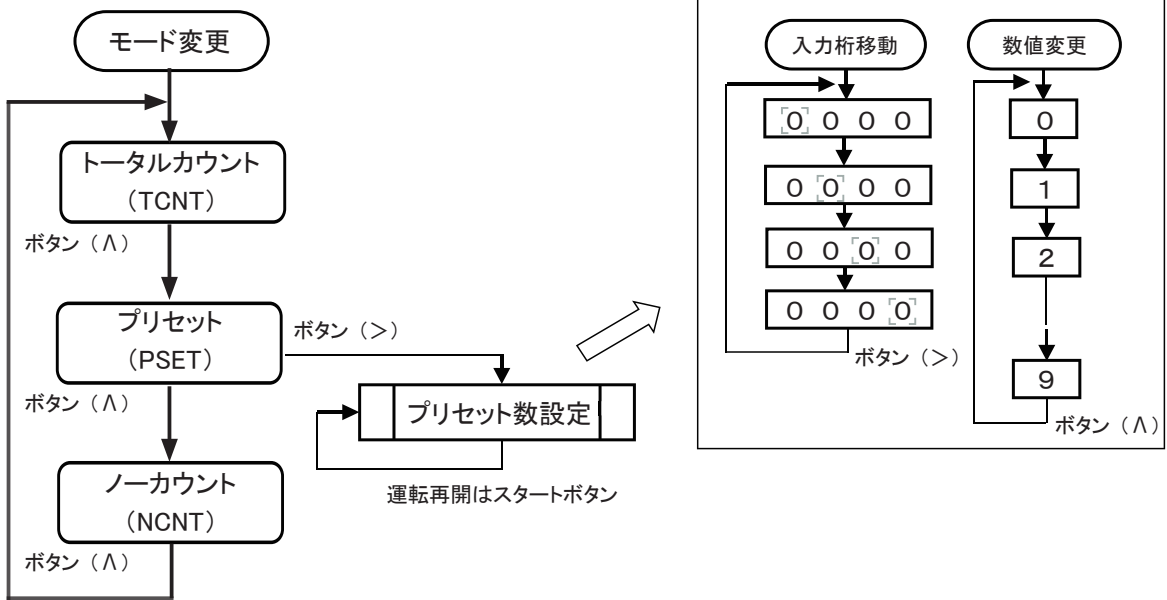


# ●操作方法

各種の設定、変更は次の手順にしたがって行ってください。(ボタンの配置は P. 6 参照)

※各動作モードの内容は P. 7 を参照ください。

## ◇動作モードの変更



**1** ボタン (B) を長押し (2秒間) してください。

※カウント表示に現在のモードが点滅します。

**2** ボタン (A) を押して変更するモードに合わせて下さい。

※ボタン (B) を押す度に「TCNT」→「PSET」→「NCNT」に表示が切り替わります。

**3** ボタン (B) を押して動作モードを決定してください。

※トータルカウントモード、ノーカウントモードをご使用の際はそのまま **4** に進んでください。

※プリセットカウントモードをご使用の際は、以下の手順でプリセット数を設定してください。

- 1) ボタン (B) を押すと、点滅する桁が変わります。
- 2) ボタン (A) を押すと点滅している桁の数字が上がっていきます。
- 3) 任意の設定値にしてください。

**4** スタートボタンを押してください。

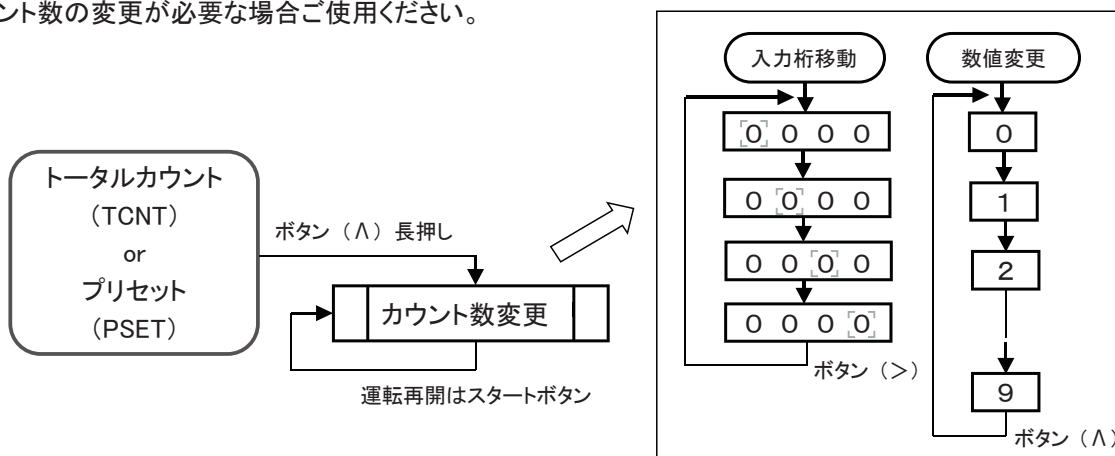
※変更されたモードで動作が始まります。

## ◇ カウント数のリセット方法

- 1** リセットボタンを長押し（2 秒間）してください。カウント数が初期値に戻ります。  
 ※トータルカウントモードでご使用の場合はカウント数が「0000」になります。  
 ※プリセットカウントモードでご使用の場合はカウント数が設定値になります。

## ◇ カウント数の変更方法

カウント数の変更が必要な場合ご使用ください。



- 1** ボタン（Λ）を長押ししてください。  
 ※カウント表示の4桁目が点滅します。  
 ※変更はトータルカウントモードまたはプリセットカウントモードで使用の際に限られます。

- 2** 以下の手順でカウント数の変更をしてください。
- 1) ボタン（>）を押すと、点滅する桁が変わります。
  - 2) ボタン（Λ）を押すと点滅している桁の数字が上がっていきます。
  - 3) カウント数を変更してください。
- ※プリセットカウントモードでご使用の際は、設定値を超えたカウント数には変更できません。変更する場合はプリセット設定値以下にしてください。

- 3** スタートボタンを押してください。  
 ※変更されたカウント数量から動作が始まります。

## ◇ フロントパネルの開け方

供給口を確認したいとき、また供給口付近でリベット詰まり等の異常が発生した際にフロントパネルを開け、確認を行ってください。また、作業は電源を切った状態で行なってください。

- 1** ロックボタン（2箇所）を押して、ボタン解除の状態にしてください。（P 6参照）



- 2** フロントパネルを取り外して下さい。  
 ※動作時は必ずフロントパネルを取り付けロック状態にしてください。  
 ※リベットの詰まりがあった場合は付属のピンセットで不要なリベットを取り除いてください。

## ● ご使用リベットの変更

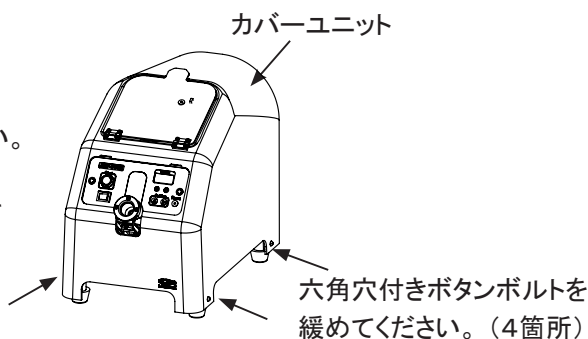
使用するリベットの径の変更をする場合、セパレータユニットとレールユニットのサイズ交換が必要となります。以下の手順に従って交換してください。作業は必ず電源を切った状態で行ってください。

※必ず変更するリベットを入れる前にフィーダー内部に残っているリベットがないかを確認してください。

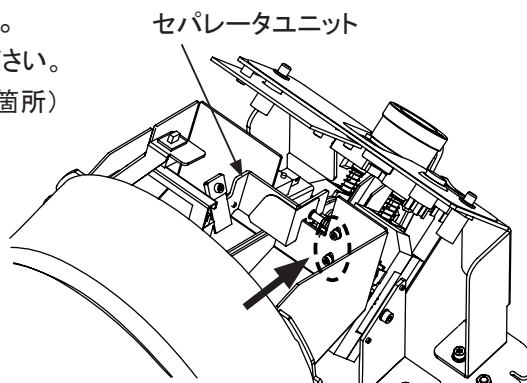
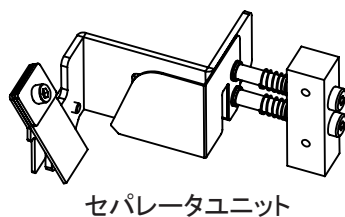
※ご使用リベットの長さのみを変更する場合は部品の交換は必要ありません。

※セパレータユニットとレールユニットの交換により型式が変更されます。交換による必要部品と型式の一覧は P 22を参照いただくと確認できます。

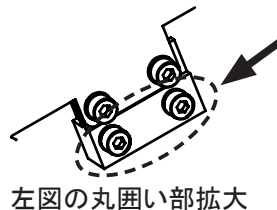
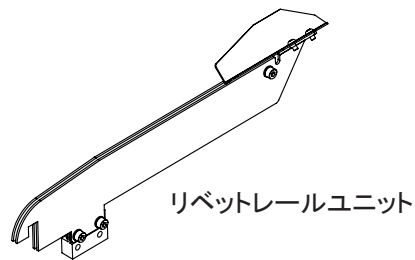
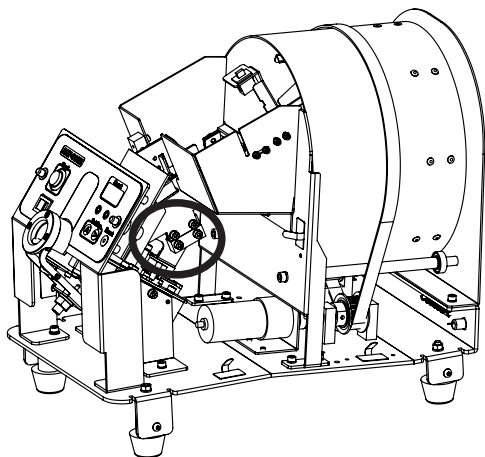
- 1** カバーユニットを取り外してください。  
 ※六角棒レンチ（対辺2.5mm）をご使用ください。  
 ※4箇所を緩めてください。  
 ※カバーユニットが外しにくい時は横方向に広げて下さい。（ボルトは脱落しません。）



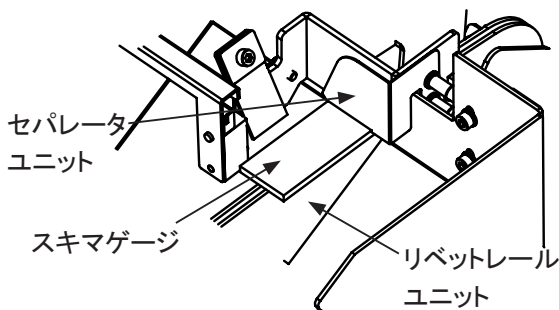
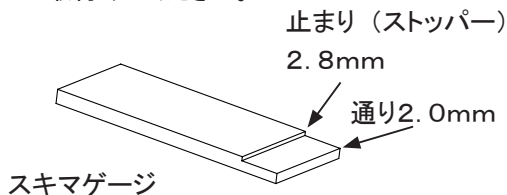
- 2** セパレータユニットを取り外してください。  
 ※六角棒レンチ（対辺2.5mm）をご使用ください。  
 ※破線部ステンレスねじを緩めてください。（2箇所）



- 3** レールユニットを取り外してください。  
 ※六角棒レンチ（対辺3mm）をご使用ください。  
 ※破線部ステンレスねじを緩めてください。（2箇所）

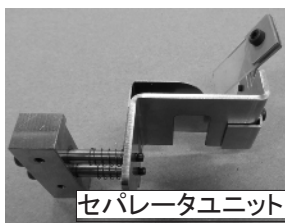
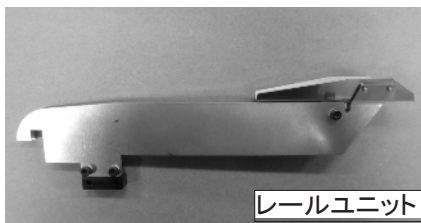


- 4** 交換するサイズのレールユニットとセパレータユニットを逆の手順で取り付けてください。  
 ※セパレータユニットとレールのスキマ寸法は2~2.8mmにしてください。  
 ※スキマ寸法が適切でない場合、リベットの詰まり等が起こるおそれがあります。  
 ※スキマ寸法の設定が難しい場合、オプション治具（スキマゲージ）を使用してください。  
 ※セパレータユニットはスキマゲージを図のように通りから差し込み、ストッパーで自然に止まる寸法に取付けてください。



◇ オプション部品

- セパレータユニット（3系統）コードNo. : 69128
- セパレータユニット（4系統）コードNo. : 69129
- セパレータユニット（5系統）コードNo. : 69130
- リベットレールユニット（3系統）コードNo. : 69097
- リベットレールユニット（4系統）コードNo. : 69098
- リベットレールユニット（5系統）コードNo. : 69099
- スキマゲージ コードNo. : 70219



# ●ご使用リベッターの変更

使用するリベッターの変更をする場合、フレームヘッドホルダーの交換が必要になります。以下の手順に従って交換してください。作業は必ず電源を切った状態で行ってください。

※交換はP8を参照し、使用するリベッターに合ったフレームヘッドホルダーを選択してください。

※フレームヘッドホルダーの交換により型式が変更されます。交換による必要部品と型式の一覧はP22を参照いただくと確認できます。

**1** フレームヘッドホルダーを取り外してください。

※六角棒レンチ（対辺3mm）をご使用ください。

※破線部ねじを緩めてください。

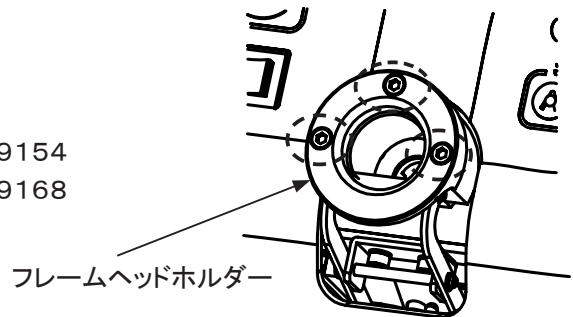
**2** 交換するサイズのフレームヘッドホルダーを取り付けてください。

※フレームヘッドホルダー（21）は青色、フレームヘッドホルダー（23）は黒色です。

## ◇ オプション部品

フレームヘッドホルダー（21）コードNo. : 69154

フレームヘッドホルダー（23）コードNo. : 69168



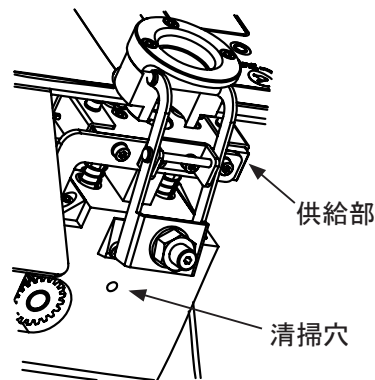


# ●保守点検

日常的に以下の作業、確認を行ってください。作業は必ず電源を切った状態で行ってください。

## 1. 各部の清掃

- 汚れがある場合はウエス等でふきとってください。
- リベット投入口、及び供給口付近をエアブロー等で汚れやほこりを除去してください。
- 供給部の動きが悪い場合、供給部下部の清掃穴よりエアブローをしてください。  
※カバーユニットを取り外した上で行なってください。(P13 参照)

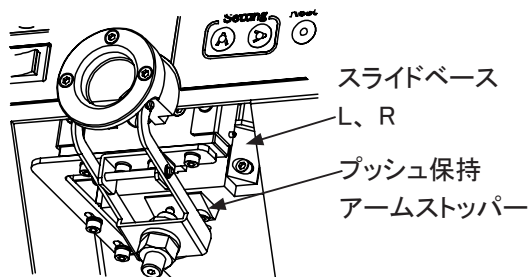


## 2. 部品の損傷がないか確認してください。

- 損傷がある場合は、お買い上げの販売店、又は当社コールセンターにお問い合わせください。
- 保守点検は1週間ごとに行なってください。怠った場合、正常に動作しないおそれがあります。

## 3. グリスを塗布してください。

- リベッターの差し込みが重いと感じたら右の図に示す矢印箇所にグリスを塗布してください。
- グリスは薄く塗布してください。塗布量が多過ぎると供給部の動きが悪くなる可能性があります。



## 3. 保管方法

- 本機は、ほこりや湿気の少ない、風通しの良い、落下のおそれのない安定した場所で保管してください。
- 本機をより長くご使用いただくために、定期的なオーバーホールを当社にご依頼ください。  
(オーバーホールは有償です) オーバーホール及び修理はお買い上げの販売店、又は当社コールセンターまでお問い合わせください。

# ●部品の注文方法

以下のように機種名・部品名・コード No.・数量を明記して、お買い上げの販売店、又は当社コールセンターまでご注文ください。

機種名	部品名	コードNo.	数量
ARF810E	セパレータユニット3系統	69128	1個
ARF810E	フレームヘッドホルダー (21)	69154	1個

※部品が改良された場合、旧製品の在庫は5年間となっておりますのでご了承ください。

# ●故障かな？と思ったら

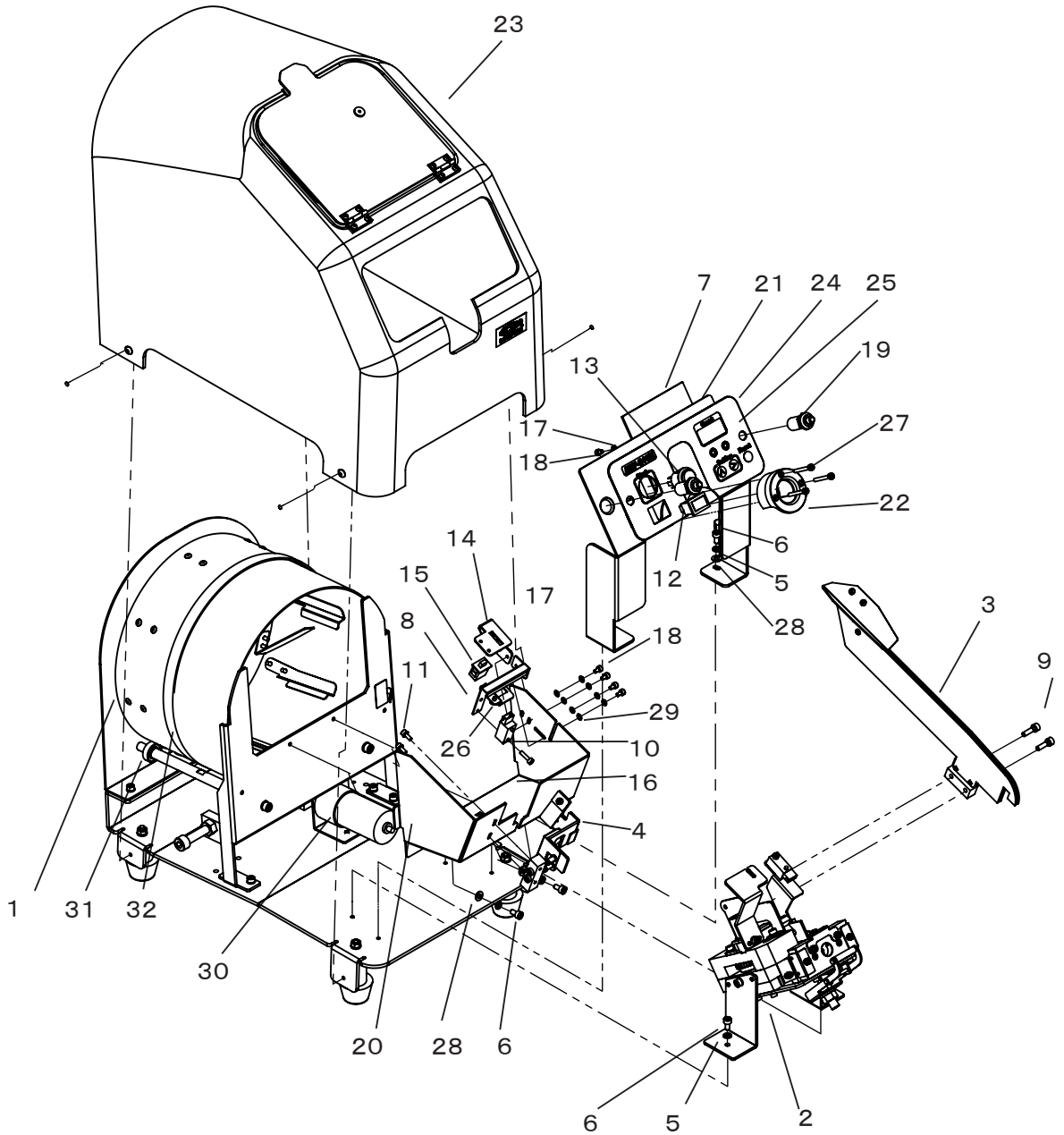
故障とお考えの前に以下の項目の確認を行なってください。すべて確認しても当てはまらない場合は当社にお問い合わせ、又は修理を依頼してください。

お問い合わせ、修理依頼の際は以下の項目を確認いただき、使用機種名・使用状況・症状等をできるだけ詳しく連絡していただきますと、修理期間を短縮することになりますのでよろしくお願いたします。

症 状	原 因	処 置
スタートボタンを押しても動作しない	1 電源プラグもしくは、電源ジャックが外れている。	電源プラグ、もしくは電源ジャックを挿入してください
	2 フタが開いて安全スイッチが働いている	フタをきっちりと閉めてください
リベットが供給されない	1 レールでリベットが詰まっている	フタを開けて詰まっているリベットを取り除いてください
	2 ノーズピースのサイズがリベットと合っていない	リベットに適応したノーズピースをご使用ください
	3 通常のノーズピース（保持ノーズピースではない）をご使用の場合、エアバキュームが効いていない	バキュームを効かせてください
	4 リベットの投入本数が上限を超えている	適切な数量を投入してください
	5 リベット以外のものが投入されている	リベットのみ投入してください
	6 供給部にリベットの詰まりが発生している	フロントパネルを開けて詰まったリベットを取り除いてください（P. 13参照）
	7 リベットレールユニットのレールが汚れている。	レールの清掃を行い、汚れを取り除いてください
	8 リベッターが正しく供給口に挿入されていない。	LED 緑が点滅し、ブザーが鳴るまで差し込んでください
	9 セパレータでリベットが詰まっている	フタを開けて詰まりリベットを取り除いてください。
	10 供給部の動きが悪い	清掃穴よりエアブローをしてください。（P. 16参照）

# ● 部品表

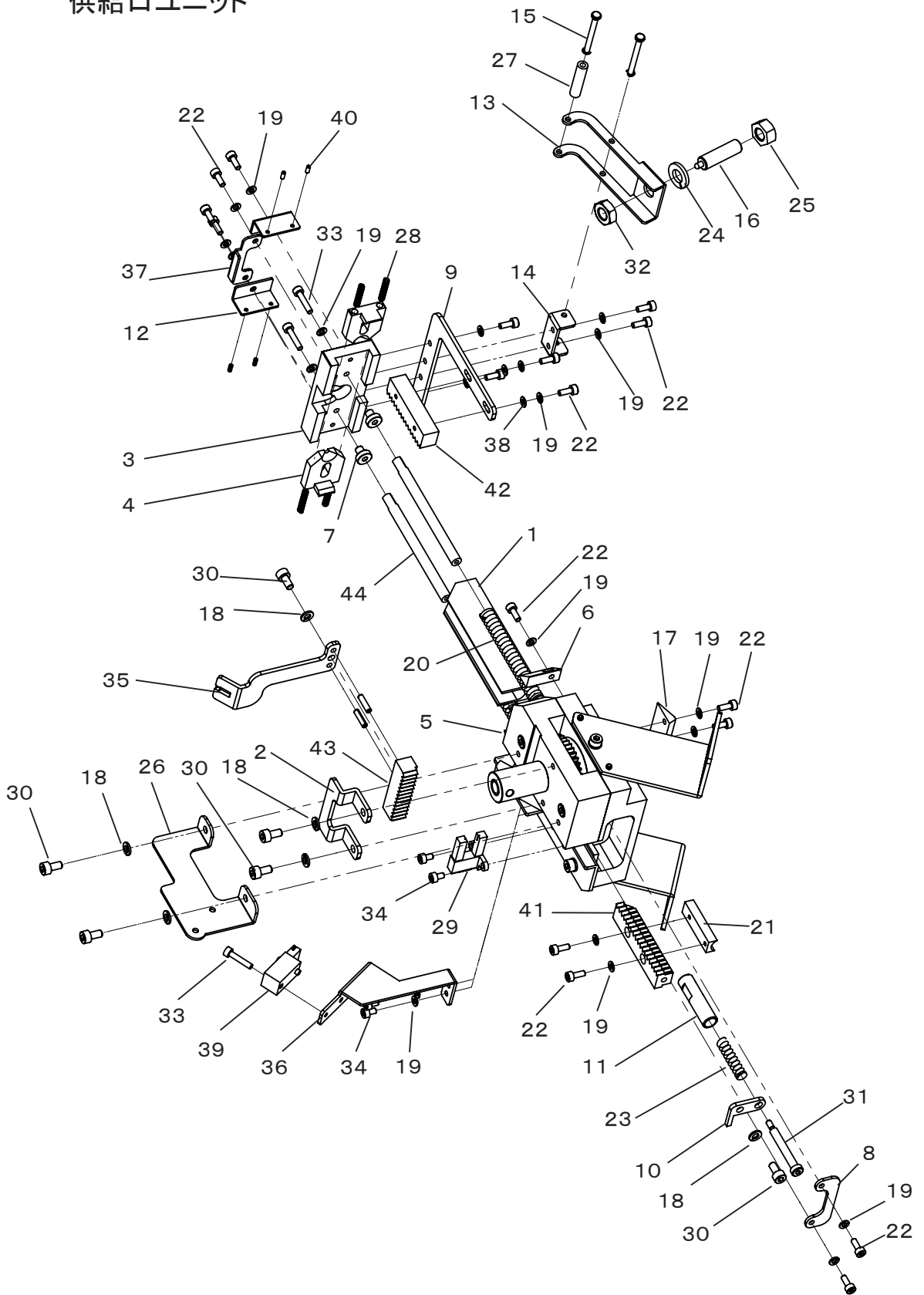
## ARF-810E 本体



照合No.	部品名	コードNo.	材質
1	ドラムユニット		ステンレス
2	供給口ユニット	69083	スチール
③-A	リベットレールユニット (3系統)	69097	スチール、ステンレス
③-B	リベットレールユニット (4系統)	69098	スチール、ステンレス
③-C	リベットレールユニット (5系統)	69099	スチール、ステンレス
4-A	セパレータユニット (3系統)	69128	スチール、ステンレス
4-B	セパレータユニット (4系統)	69129	スチール、ステンレス
4-C	セパレータユニット (5系統)	69130	スチール、ステンレス
5	ばね座金 M4	20930	スチール
6	六角穴付きボルト M 4 × 8	20918	スチール
7	電動フィーダーコントロールユニット基板	69167	電子機器
8	センサープレート	70218	ステンレス
9	ばね座金組込み六角穴付きボルト M 4 × 15	69157	ステンレス
10	整列確認センサ	69161	電子機器
11	ばね平座金組込み六角穴付きボルト M 3 × 8	61443	ステンレス
12	電源スイッチ	69164	電子機器
13	スタートボタン	69163	電子機器
14	安全スイッチ取付プレート	69174	スチール
15	安全スイッチ	69165	電子機器
16	六角穴付きボルト M 3 × 12	61337	スチール
17	ばね座金 M3	12442	スチール
18	六角穴付きボルト M3 × 5	43736	スチール
19	カムロックファスナー	69162	プラスチック
20	フロントバスケット	69136	ステンレス
21	基板取付プレート	69138	スチール
②2-A	フレームヘッドホルダーφ21	69154	プラスチック
②2-B	フレームヘッドホルダーφ23	69168	プラスチック
23	カバーユニット	69715	プラスチック、 ステンレス、スチール
24	フロントパネル	69159	ステンレス
25	パネルシート	69169	プラスチック
26	安全スイッチ固定プレート	70336	スチール
27	六角穴付きボルト M 3 × 25	67673	スチール
28	平座金 M 4	25585	スチール
29	平座金 M 3	21539	スチール
30	モーター	69105	電子機器
31	ベアリング	69120	スチール
32	ベルト	69111	ゴム

◎照合 No. で○印のあるものは消耗品です。定期的に交換してください。

# 供給口ユニット



照合No.	部品名	コードNo.	材質
1	プッシャーガイド	69052	スチール
2	ラックギア抑えプレート	69050	スチール
3	供給ユニットプッシャー板	69056	スチール
4	フィンガー	69057	スチール
5	スライドベース L	69065	スチール
6	スライドベース R	69066	スチール
7	フィンガースペーサー	69058	スチール
8	ストッパー	69041	スチール
9	ラックギア連結板	69060	スチール
10	リベットプッシャー連結板	69055	スチール
11	リベットプッシャー	69054	スチール
12	ばね受け	69059	スチール
13	プッシュ保持アーム	69068	スチール
14	プッシュ保持アームベース	69069	スチール
15	ヒンジピン	69070	スチール
16	プランジャピン	69072	スチール
17	プッシュ保持アームストッパー	69073	スチール
18	ばね座金 M 4	20930	スチール
19	ばね座金 M 3	12442	スチール
20	圧縮ばね $\phi 8 \times 70$	69040	スチール
21	リベットプッシャーガイド上	69053	スチール
22	六角穴付きボルト M 3 $\times$ 8	61443	スチール
23	圧縮ばね $\phi 6 \times 40$	69080	スチール
24	ばね座金 M 8	20859	スチール
25	六角ナット M 8	65930	スチール
26	レール取付台	69076	ステンレス
27	ローラー	69142	プラスチック
28	圧縮ばね $\phi 3 \times 20$	69141	スチール
29	供給確認センサ	69160	電子機器
30	六角穴付きボルト M 4 $\times$ 8	20918	スチール
31	ストリップボルト	69166	スチール
32	六角ナット (薄) M 8	10155	スチール
33	六角穴付きボルト M 3 $\times$ 15	61337	スチール
34	六角穴付きボルト M 3 $\times$ 5	43736	スチール
35	セパレータアーム	69064	スチール
36	通過確認センサ取付台	69153	スチール
37	プッシャー板アングルプレート	69711	スチール
38	平座金 M 3	21539	スチール
39	通過確認センサ	69718	電子機器
40	スプリングピン $\phi 2 \times 5$	69878	スチール
41	ラックギア (リベットプッシュ用)	69047	スチール
42	ラックギア (歯車回転用)	69048	スチール
43	ラックギア (セパレータ用)	69049	スチール
44	供給ユニット連結シャフト	69039	スチール

◎照合 No. で○印のあるものは消耗品です。定期的に交換してください。

# ● 型式変更と部品一覧

リベット径、フレームヘッド径の変更により型式は以下の表のように変更されます。ご購入（使用中）型式はP 23を参照の上、確認できます。

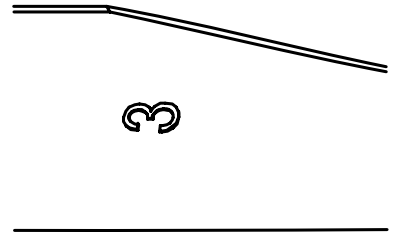
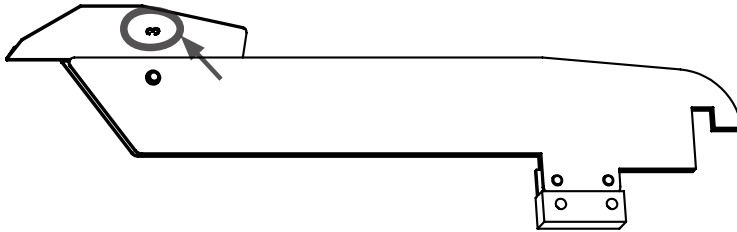
ご購入 型式	変更 型式	変更部品		
		レールユニット	セパレータユニット	フレームヘッドホルダー
ARF- 810E-	2423	変更不要	変更不要	フレームヘッドホルダー(23) 69168
	3221	リベットレールU (4系統) 69098	セパレータU (4系統) 69129	変更不要
	3223	リベットレールU (4系統) 69098	セパレータU (4系統) 69129	フレームヘッドホルダー(23) 69168
	4021	リベットレールU (5系統) 69099	セパレータU (5系統) 69130	変更不要
	4023	リベットレールU (5系統) 69099	セパレータU (5系統) 69130	フレームヘッドホルダー(23) 69168
2421	2421	変更不要	変更不要	フレームヘッドホルダー(21) 69154
	3221	リベットレールU (4系統) 69098	セパレータU (4系統) 69129	フレームヘッドホルダー(21) 69154
	3223	リベットレールU (4系統) 69098	セパレータU (4系統) 69129	変更不要
	4021	リベットレールU (5系統) 69099	セパレータU (5系統) 69130	フレームヘッドホルダー(21) 69154
	4023	リベットレールU (5系統) 69099	セパレータU (5系統) 69130	変更不要
2423	2421	リベットレールU (3系統) 69097	セパレータU (3系統) 69128	変更不要
	2423	リベットレールU (3系統) 69097	セパレータU (3系統) 69128	フレームヘッドホルダー(23) 69168
	3223	変更不要	変更不要	フレームヘッドホルダー(23) 69168
	4021	リベットレールU (5系統) 69099	セパレータU (5系統) 69130	変更不要
	4023	リベットレールU (5系統) 69099	セパレータU (5系統) 69130	フレームヘッドホルダー(23) 69168
3221	2421	リベットレールU (3系統) 69097	セパレータU (3系統) 69128	フレームヘッドホルダー(21) 69154
	2423	リベットレールU (3系統) 69097	セパレータU (3系統) 69128	変更不要
	3221	変更不要	変更不要	フレームヘッドホルダー(21) 69154
	4021	リベットレールU (5系統) 69099	セパレータU (5系統) 69130	フレームヘッドホルダー(21) 69154
	4023	リベットレールU (5系統) 69099	セパレータU (5系統) 69130	変更不要
3223	2421	リベットレールU (3系統) 69097	セパレータU (3系統) 69128	フレームヘッドホルダー(21) 69154
	2423	リベットレールU (3系統) 69097	セパレータU (3系統) 69128	変更不要
	3221	変更不要	変更不要	フレームヘッドホルダー(21) 69154
	4021	リベットレールU (5系統) 69099	セパレータU (5系統) 69130	フレームヘッドホルダー(21) 69154
	4023	リベットレールU (5系統) 69099	セパレータU (5系統) 69130	変更不要
4021	2421	リベットレールU (3系統) 69097	セパレータU (3系統) 69128	変更不要
	2423	リベットレールU (3系統) 69097	セパレータU (3系統) 69128	フレームヘッドホルダー(23) 69168
	3221	リベットレールU (4系統) 69098	セパレータU (4系統) 69129	変更不要
	3223	リベットレールU (4系統) 69098	セパレータU (4系統) 69129	フレームヘッドホルダー(23) 69168
	4023	変更不要	変更不要	フレームヘッドホルダー(23) 69168
4023	2421	リベットレールU (3系統) 69097	セパレータU (3系統) 69128	フレームヘッドホルダー(21) 69154
	2423	リベットレールU (3系統) 69097	セパレータU (3系統) 69128	変更不要
	3221	リベットレールU (4系統) 69098	セパレータU (4系統) 69129	フレームヘッドホルダー(21) 69154
	3223	リベットレールU (4系統) 69098	セパレータU (4系統) 69129	変更不要
	4021	変更不要	変更不要	フレームヘッドホルダー(21) 69154

◇ 型式の確認方法

①～③でご使用のリベット径、フレームヘッドホルダー径を確認いただき、④で型式にあてはめてください。

① レールユニット

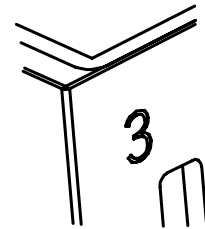
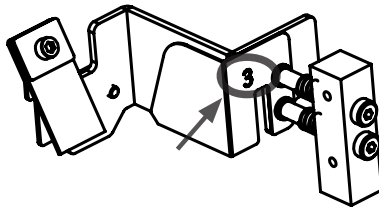
使用リベット径に対応した系統を表示



表示部の拡大

② セパレータユニット

使用リベット径に対応した系統を表示

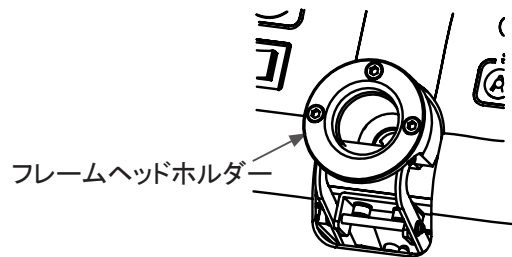


表示部の拡大

③ フレームヘッドホルダー (素材色による識別)

フレームヘッドホルダーφ21 → 青色

フレームヘッドホルダーφ23 → 黒色



フレームヘッドホルダー

④ 確認したサイズを下記の型式名に当てはめてください。

※①と②は同じ表示となります。

ARF-810E-□-□ → フレームヘッドホルダー径

21	21mm
23	23mm

↓  
使用リベット径

24	2.4mm (3系統)
32	3.2mm (4系統)
40	4.0mm (5系統)